

ITコーディネータ制度と中国地域の活動

平成 15 年 5 月

中国地域 IT コーディネータ連絡会
代表幹事 河野 亘
(特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会広報担当)

IT コーディネータ制度と中国地域の活動

平成 15 年 5 月
中国地域 IT コーディネータ連絡会
代表幹事 河野 亘

IT コーディネータ (Information Technology Coordinator) は、経営者の立場に立って経営と IT の橋渡しを行い、真に経営に役立つ IT 投資を推進・支援するプロフェッショナルです。IT コーディネータは、政府が 2001 年に発表した「e-Japan 戦略」を具体化した「e-Japan 重点計画」において 2005 年度までに 1 万人の育成を目指すこととされており、我が国の IT 戦略を支える重要な人材基盤として位置付けられている経済産業省推進資格です。

平成 15 年 3 月 31 日現在、全国の資格認定者数累計は IT コーディネータ 2,200 名、IT コーディネータ補 1,017 名、合計 3,217 名です。

中国地域におきましても、平成 13 年 6 月に IT コーディネータ・インストラクターによる研究会が発足し、中国経済産業局の支援の下での全国に先駆けて活発に活動し、他地域の先進事例として高く評価されています。

参考) IT コーディネータ協会 (NPO 法人)

当協会は、1999 年 6 月通商産業省 (現経済産業省) の産業構造審議会情報産業部会情報化人材対策小委員会の中間報告「戦略的情報化投資による経済再生を支える人材育成」において提唱された「IT コーディネータ制度」の創設、認定、普及を目的として、2001 年 2 月 1 日に NPO 法人として設立されました。当協会は、発足以来、IT コーディネータの資格認定制度の立ち上げをはじめ、IT コーディネータ制度の普及・啓蒙、IT コーディネータの実践活動支援、IT コーディネータの継続的な育成支援などを、経済産業省をはじめ地方自治体や関係諸機関のご支援の得て推進しております。

■ IT コーディネータとは・・IT ユーザーの信頼できるパートナー 経営と IT の橋渡し

IT コーディネータ (Information Technology Coordinator) とは、経営者の立場に立って経営と IT を橋渡しし、真に経営に役立つ IT 投資を推進・支援するプロフェッショナルです。

IT コーディネータ資格認定制度は、「IT コーディネータの実務を含めた能力を特定非営利活動法人 (NPO 法人) IT コーディネータ協会が認定する資格認定制度」と定義されています。

■ IT コーディネータ制度発足の経過・・「IT 革命の切り札」となる国家的プロジェクト

1998/11 通産省産業構造審議会「情報化人材対策小委員会」審議開始

戦略的情報化投資による経済再生を担う人材育成について

1999/6 上記小委員会中間報告で IT コーディネータ制度の創設を提案

戦略的情報化投資活性化のための環境整備の試み

2000/2 ITSSP が IT コーディネータに関する中間報告書を公表

参考) ITSSP IT ソリューション・スクウェア・プロジェクト

ITSSP とは、経済産業省と情報処理振興事業協会 (IPA) が推進する公的なプロジェクトであり、産業競争力回復を目指した戦略的情報化投資活性化事業です。

2000/10 ITSSP がガイドラインを公表

「IT コーディネータ報告書」

「IT コーディネータ・プロセスガイドライン (β版)」

「IT コーディネータ・カリキュラム作成ガイドライン (β版)」

2001/2 IT コーディネータ協会を特定非営利活動法人 (NPO 法人) として設立

2001/4 IT コーディネータ・インストラクタ研修の開始

■ IT コーディネータはどのような知識技能があるのか・・・経営戦略の策定から運用までを一貫して支援する能力

世界のベスト・リファレンスを積極的に取り入れて、次のような実務により経営者を支援する人材です。

- ・情報システムを基盤として組込んだ経営戦略の策定を支援する（経営戦略策定フェーズ）
- ・経営戦略を実現する情報化企画書作成を支援する（戦略情報化企画フェーズ）
- ・情報化に必要なIT資源の調達を経営戦略企画責任者と共に行う（情報化資源調達フェーズ）
- ・情報システムの開発及び組織への導入時に経営戦略企画責任者の片腕となってマネジメントを支援する（情報システム開発／試験／導入フェーズ）
- ・運用時にはIT資源及び経営活動全般における情報の活用度を定期的なモニタリングを支援する（運用サービス・デリバリーフェーズ）
- ・これらのプロセスで問題があれば対策を提案する

この5つの活動フェーズ全体を遂行するための以下のような能力を、ケース研修を通じて向上させることができる点が、従来の資格者との大きな違いになっています。

- ・それを最適な方向に導く「プロジェクトマネジメント能力」
- ・経営者をはじめユーザーやITベンダーとの「コミュニケーション能力」
- ・全体の工程や活動の「モニタリング・コントロール能力」
- ・導入した情報システムが経営にどれだけの効果をもたらしているかをみる「モニタリング能力」

表 1. IT コーディネータ支援プロセスとリファレンスおよび成果物

フェーズ	リファレンス	成果物
経営戦略策定	JQA、SWOT 分析、インフルエンス・ダイアグラム、ビジネスエクセレンスモデル、APQC（上位）	ビジネスモデル戦略版 経営戦略企画書
戦略情報化企画	COBIT、DMM、ERD、ジェネリック・プロセスモデル、APQC（下位）、論理モデル（上位、詳細）	戦略情報化企画書 経営改革企画書
情報化資源調達	COBIT、RFI/RFP、ASP、ジェネリック・論理モデル/データモデル、IT プロダクトリファレンス	情報化提案依頼書 情報化実行計画書
情報システム開発／試験／導入	COBIT、CMM、SPA、ISO 900Q、PMBOK	情報化・経営改革モニタリング報告書
運用サービス・デリバリー	COBIT、SLA	情報化・経営改革モニタリング報告書
共通	PMBOK、ハーマンモデル、BSC	

■ 中国地域の IT コーディネータはどのような活動をしているのか・・・広報と自己研鑽

平成 13-14 年度に中国地域の IT コーディネータは次のような活動をしました。

【IT コーディネータ勉強会】

- ・平成 13 年 9 月～平成 14 年 1 月 経営改善研修事業実行委員会による経営改善研修テキスト作成
- ・平成 13 年 11 月～平成 14 年 4 月 専門家派遣事業実行委員会による IT コーディネータ支援プロセス勉強会
- ・平成 13 年 12 月 20 日 「IT 活用支援のポイント」
- ・平成 14 年 2 月 21 日 「CMM を応用した組織能力の持続的成熟度向上について」
- ・平成 14 年 3 月 7 日 「バランススコアカードの活用について」
- ・平成 14 年 4 月 17 日 「経営品質の基礎」
- ・平成 14 年 12 月 17 日 「ベンチマーキング概説」
- ・平成 15 年 2 月 1 日 「ERP 導入の評価と実践」

【広報活動・ITコーディネータ制度紹介】

- ・平成13年10月2日 ITコーディネータ・インストラクターの紹介やITコーディネータ制度の説明、各支援機関へのITコーディネータ活用の依頼 48名)
- ・平成13年10月26日 ひろしまIT&テクノフェアでITコーディネータ協会弓崎事務局員によるセミナー 約50名)
- ・平成14年1月26日 中小企業診断士協会広島県支部へのITコーディネータ制度紹介 約20名)
- ・平成14年1月31日 岡山ITコーディネータセミナーで経済産業省によるITコーディネータ支援施策、日経IT21編集長桔梗原講師によるIT活用事例、中国地域広報担当によるITコーディネータ活用法紹介 約120名)
- ・平成14年2月5日 中小企業大学校広島校ITコーディネータ紹介セミナーで経済産業省および中国経済産業局によるITコーディネータ支援施策紹介 約80名)
- ・平成14年3月25日～26日 (財)しまね産業振興財団主催 ITセミナー・相談会」で島根地域広報担当による講演とITコーディネータによる相談会
- ・平成14年11月5日 (社)広島県情報産業協会主催 ITコーディネータ紹介セミナーで中国地域広報担当による講演

【講師派遣事業・専門家派遣事業】

- ・平成13年9月と11月および平成14年3月の計12日、ITコーディネータ専門知識研修
- ・平成13年10月の5日間、中小企業大学校での経営指導員へのIT経営改善研修
- ・平成13年10月～12月の5回、福山でのITSSP参画型事業
- ・平成13年11月～平成14年3月の計60回、中国NBC専門家派遣事業
- ・同上期間の計20日、広島ソフトウェアセンターのIT経営改善研修
- ・平成14年5月と11月の計8日、ITコーディネータ専門知識研修
- ・平成14年6月～10月の6回、広島県商工会連合会「ITビジネス道場」事業でセミナーと相談会
- ・平成14年8月の5日間、中小企業大学校での経営指導員へのIT経営改善研修
- ・平成14年8月～11月に岡山県でITSSP経営戦略責任者交流会A事業に8回ITコーディネータ派遣
- ・同上期間に鳥取県でITSSP経営戦略責任者交流会A事業に4回ITコーディネータ派遣
- ・平成14年9月～平成15年2月に広島県商工会連合会専門家派遣事業で10社実施
- ・同上期間にITSSP戦略的IT投資研究事業による広島・岡山・鳥取の3社へ各5回ITコーディネータ派遣
- ・同上期間に備後地区でITSSP経営戦略責任者交流会事業に6回ITコーディネータ派遣
- ・同上期間に島根県でITSSP戦略的IT投資研究事業に5回ITコーディネータ派遣
- ・同上期間に呉地区でITSSP戦略的IT投資研究事業(追加)による10社へのITコーディネータ派遣
- ・同上期間に備後地区で経営戦略責任者交流会事業(追加)にITコーディネータ派遣
- ・平成14年11月に山口県中小企業団体中央会主催の「実践IT活用セミナー」で業種別に3回ITコーディネータ派遣

以上の事業は複数回または複数日の事業ですが、その他に1回または1日の各種講演会やセミナーにITコーディネータを派遣しています。

■ 中国地域のITコーディネータの課題・・・組織化とネットワークの拡大

①中国経済産業局管轄5県の連絡窓口としての中国地域ITコーディネータ連絡会と地方自治体等の連絡窓口としての各県ITコーディネータ連絡会の存在周知

現在、中国地域ITコーディネータ連絡会は相応の認知度がありますが、各県ITコーディネータ連絡会の周知が遅れています。平成15年度は各県ITコーディネータ連絡会の認知に注力します。

②地域ITコーディネータの全国的なネットワークの強化

15日間のケース研修は人的ネットワーク形成にもおおいに寄与していますが、広島で実施されている中国地域のケース研修は受講者が少なく、年3回の機会にたいし、年1回の開催が危うい状態です。ケース研修の実施と全国的な催しの導入の検討が必要です。

③IT コーディネータ制度と地域 IT 産業のレベル均質化

IT コーディネータ制度のコンセプトは「経営とITの橋渡し」です。IT コーディネータが経営者を支援して戦略情報化を企画しても対岸の地域 IT 企業がついてこれない場合が想定されています。経営戦略責任者の IT ガバナンス（統制能力）向上も重要ですが、現状では地域の IT 企業における IT 成熟度（開発能力）向上も緊急課題です。そのためにも、各県の情報産業協会等への広報活動と研修活動も実施します。

■ 中国地域の IT コーディネータは平成 15 年度に何をするのか

IT コーディネータの実務経験強化および地域中小企業のための経営情報化支援、さらに IT コーディネータ制度を経営者に認知していただくための事業を実施します。

1. ITSSP 事業支援

平成 15 年度の ITSSP 戦略的情報化投資活性化支援事業募集に合わせた以下の事業を支援します。

① IT 化事例発表会事業

平成 13 年度に実施した中国地域ニュービジネス協議会の専門家派遣事業や平成 14 年度の専門家派遣事業である ITSSP の IT 投資研究事業等の他社の参考となる IT 化を実施した企業の事例を紹介するセミナー形式の発表会です。

発表会は、基調講演、事例講演、パネルディスカッション等で構成され、IT コーディネータ支援プロセスを認知してもらうための事例発表会として、中小企業の経営者の方々や部門責任者の方々に参加していただきます。

②経営者交流会事業

経営革新や情報化に対し関心をお持ちの中小企業の経営者や情報化責任者の方々が集まり、共通の課題や課題達成について意見交換を行います。

交流会では、IT コーディネータが参加者と共に問題解決のお手伝いをします。

③経営者研修会事業

経営革新や情報化の進め方・手法を、事例を通して参加者同士で意見交換しながら学ぶものです。研修会は、講義、ケース学習等で構成され、修了時には参加者が自ら経営戦略の立案や情報化企画書を作成できる能力を身に付けていただくことを目指した、質の高い研修です。

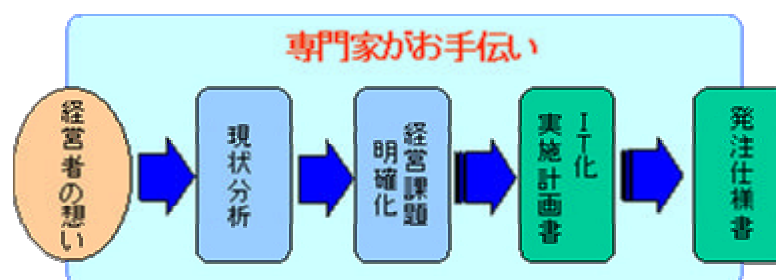
研修会は 10 名程度の経営者や情報化責任者の方々と構成し、講師には IT コーディネータが複数であたります。

④コンサルティング（専門家派遣）事業

ITSSP 事業を通じて自社の IT 化を進めていただける中小企業の経営者の方々を対象に、IT コーディネータが支援をいたします。

IT コーディネータは、参加企業が具体的な IT 投資をするために必要な「IT 化実施計画書」や「発注仕様書」を作成するお手伝いをします。

コンサルティング等の支援対象者は、中小企業の経営者の方々を想定しておりますが、情報化責任者の方々も共に参加いただけます。



さらに、次のお手伝いもいたします。

i) 発注仕様書 (RFP 等) が完成していて、実際の発注および以降の対応についてコンサルティングを受けたい中小企業の経営者の方々

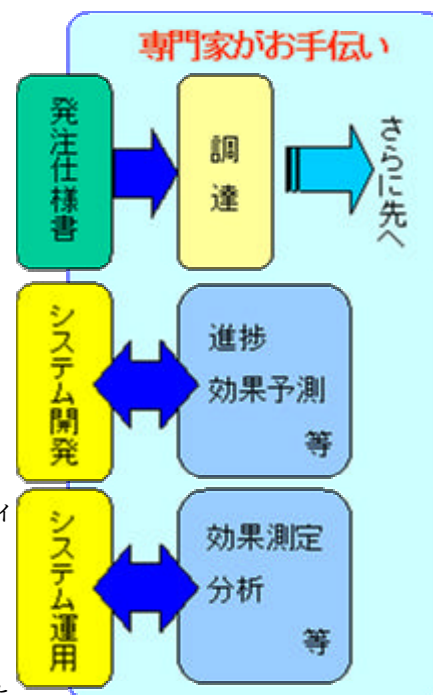
ii) システム開発段階にあり、専門家の客観的な助言を求めている中小企業の経営者の方々

iii) システム運用の初期段階にあり、予定された性能・効果が発揮されていないシステムのモニタリング／分析を求めている中小企業の経営者の方々

IT コーディネータは各 IT 投資の段階に沿った個別コンサルティング等の支援を行います。

2. IT コーディネータ制度普及促進事業

社) 広島県情報産業協会、株) 広島ソフトウェアセンターおよび IT コーディネータ協会により、IT コーディネータ支援プロセスの普及を図り、地方 IT 企業の IT 成熟度向上と地方の IT 産業の市場拡大に寄与します。



① IT コーディネータケース研修の広島会場実施 (年 3 回のうち 1 回)

平成 15 年度第 2 回 IT コーディネータケース研修会のご案内 厚生労働省教育訓練給付制度指定講座	
研修申込受付期間	：平成 15 年 4 月 4 日 (金) ～ 7 月 14 日 (月)
受講料	：500,000 円
開催期間	：8 月 9 (土), 10 (日), 17 (日), 23 (土), 24 (日) 9 月 6 (土), 13 (土), 14 (日), 20 (土), 21 (日), 27 (土) 10 月 4 (土), 5 (日), 11 (土), 12 (日) (週末 15 日間)
開催場所	：(株) 広島ソフトウェアセンター

② 社) 広島県情報産業協会主催展示会への出展とセミナー

参加者 2 万人を見込む、中国地域最大の情報産業のイベントである「コンピュータネットワーク EXPO '03 広島」が平成 15 年 10 月 22～24 日に開催されるので、IT コーディネータ協会と地域の IT コーディネータ組織で出展およびセミナーに参加し、IT コーディネータ制度の普及を図ります。

③ ITSSP 事業による経営者への広報

上記 ITSSP 事業の IT 化事例発表会や経営者交流会等により、IT コーディネータの認識度向上を図ります。

3. IT コーディネータ自己研鑽事業

各 IT コーディネータの自主的勉強会を企業内や近隣の複数の IT コーディネータで開催できるように支援します。具体的には、ITC 中国のホームページ上に自主的勉強会の紹介と日程を掲載します。

4. 地方 IT 技術者スキル向上支援事業「プロジェクトマネジメント研修」

社)広島県情報産業協会や地域の ITC 協同組合が連携し、地方 IT 技術者のスキル向上のために「プロジェクトマネジメント研修」実施を支援します。

日本の情報産業界におけるプロジェクトは定常的な納期遅れやリスク対策の不備が顕著となっています。その中でも地方の情報産業界ではプロジェクトマネージャが極端に欠乏しています。そこで、経済産業省の委託により開発されたプロジェクトマネジメント(PM)実践力体系であるプロジェクト&マネジメント標準ガイドブック P2M Project & Program Management for Enterprise Innovation)の PM 資格認定に関する研修会を開催し、プロジェクトマネージャ育成の支援を行います。

P2M特別研修会概要

開催日 : **平成15年6月20日(金)～平成15年7月13日(日) 全8日間** 56時間コース

申込書受付期間 : 平成15年5月26日(月)～7月13日(金)

募集人員 : 60名

受講料 : 20,000円 (資料代等) (今回は特別です)

研修会場 : 1. 広島県立産業技術交流センター 広島市中区千田町三丁目7番47号)

及び 2. 広島国際会議場 広島市中区中島町1番5号 平和記念公園内)

◆ オリエンテーションは無料で5月22日(木)13:30 から、アステールプラザで開催されます。

参考)新しい日本型プロジェクトマネジメント(知識体系 P2M)の開発

米国の PM 関係団体である PMI Project Management Institute)は、独自の知識体系ガイド(PMBOK)を持っており、これに基づくPMP 資格保有者は4万5千人にのぼっている。(このうち日本におけるPMP 取得者も2千人を超えている。)このような PM を巡る世界的動向および近年課題となっている製造業の国際競争力強化 (もの創りの復権) のためには PM の開発、普及が有効であり、かつ急務であるとの産業政策上の要請に基づき通商産業省 (現経済産業省)は、このための調査、研究を (財)エンジニアリング振興協会に委託した。当協会は、これを受けて PM 導入開発委員会 (委員長千葉工業大学小原重信教授)を設置し、平成11年度から3年間にわたり新しい日本型 PM 知識体系の開発と資格制度の創設について検討を行い、新しい日本型プロジェクトマネジメント知識体系であるP2Mを開発した。

(参考) 平成15年度第1回 PMS レベル P2M 講習会のご案内 厚生労働省教育訓練給付制度指定講座)

受講案内配布期間	: 平成15年3月10日(月)～5月15日(木)
受講申込書受付期間	: <東京会場> 平成15年3月17日(月)～4月30日(金) <京都会場> 平成15年3月17日(月)～4月30日(水) <大阪会場> 平成15年3月17日(月)～5月15日(木)
受講料	: 250,000円
開催期間	: 平成15年5月9日(金)～平成15年7月5日(土) (週末8日間)
受け付け定員	: 各クラス40名から50名程度で5クラス編成予定

平成15年度は IT コーディネータ協会 5 年計画の 3 年目を迎えます。今般のスピード経営時代に取り残されないように、中国地域の IT コーディネータはポイント制度による資格認定年度更新を含めた自己研鑽と国家的プロジェクトの目的遂行へ全力を傾注いたしますので、みなさまの更なる支援をお願いする次第であります。

以上

(参照ホームページ)

IT コーディネータ協会 <http://www.itc.or.jp/>

ITSSP <http://www.itssp.gr.jp/>

PMCC <http://www.pmcc.or.jp/>

中国地域ITコーディネータ連絡会 (TC中国)

<http://www.it-coordinator.jp/shibu/itc-chugoku/>

代表幹事 河野亘(wataru@hek.co.jp)
事務局 原田美穂 (harada-m@palwave.co.jp)
鳥取県幹事 坂本直 (sakamoto@ttr.t-axis.co.jp)
島根県幹事 上田治城 (sdi00442@nifty.com)
岡山県幹事 久保田浩二 (kubota@synform.co.jp)
広島県幹事 志多木義浩 (yoshihiro@shitaki.net)
山口県幹事 石田豊 (y-ishida@cm.chugoku.hitachi.co.jp)

ITCやまぐち協同組合

<http://www.siy.co.jp/itc/>

代表理事 谷口修 (i-uemura@siy.co.jp)

広島ITコーディネータ協同組合 (HITC)

<http://www.h-itc.org/>

理事長 普家浩文 (info@h-itc.org)

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

<http://www.itc.or.jp/>